

みんなのて 通信 vol.15



(多世代交流ひろば みんなのて)

— R 2・7 発行 —

E-Mail somebodyshands@gmail.com (みんなのて 事務局)

HP <https://www.minnanote-tsurumaki.com/> (みんなのて)

【 乳幼児を連れた広域避難について 】

～ みんなで支え助け合えるように ～

私は、つるまきこども園の園長として2年目を迎えました。

この鶴巻地区での「ちっちゃなて」「おっきなて」「みんなのて」の活動から、世代を超えた人とのつながりの温かさを感じているところです。

現在、園では新型コロナウイルス感染予防に重点をおいて対策をとっているところですが、今回いただいたテーマから乳幼児のお子さんがいられるご家庭の広域避難について考えてみました。

災害はいつ起こるかわかりませんし、お子さんがいると避難に時間がかかるものです。ご家庭でも常に、水、ミルク、オムツなどをまとめて、すぐに持ち出せるようにしておくとうれしいです。避難は徒歩が基本となるので、お子さんは抱っこ紐で、荷物はリュックサックでというように両手があくようにしておきましょう。たくさんものを持ち出そうとすると大変なので、まずはお子さんとご自身の安全を守ることを最優先に考え、リュックサックの中身は持ち運ぶことができる最小限の必需品を用意しておくとうれしいと思います。

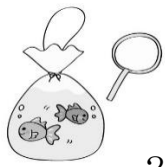


今は、新型コロナウイルス感染予防から広域避難場所の「密」や、精神的なストレスを避けたい理由でテントや車、自宅避難という選択をとられる方もいると思います。いずれにせよ、備蓄品や避難経路の確認、連絡の取り方などご家族で話し合っ、万に備えておくことが大切ですね。

また、日頃から近所の方と挨拶を交わすなどして、小さい子がいることを知ってもらとうれしいです。いざという時に心強いと思います。「子どもが泣いたら迷惑がかかってしまう。」「近くに親戚や知り合いがいない。」と周囲に遠慮したり、心細く感じていたりするお母さんもおられると思います。困った時には勇気を出して「助けて」と言ってみましょう。「大丈夫?」と優しく気遣って手を貸してくださる方がきつというと思います。災害時だからこそお互いを思いやり、行動することが大切になってくるのではないのでしょうか。この鶴巻地区なら乳幼児から高齢者までみんなで助け合い、支えあえると信じています。

そして、お子さんが怖がっていたら、まずは抱きしめて安心できる言葉をかけてください。一人一人のかけがえのない「命」をみんなで守っていきましょう。

(つるまきこども園 園長 込山真由美)



夏祭りごっこ

2年前、ちっちゃなてが立ち上がってからずっと続いている、夏の恒例イベント「夏祭り」。過去のホームページブログでも、その様子は写真付きで紹介されており、利用者のみなさんにはとても好評をいただいています。

こんなコロナ禍の影響で、リアルな夏祭りはどこもが中止となっていますが、みんなのてでは、今年も「夏祭りごっこ」として、この夏の恒例イベントをやらせていただきます!!

今年はおっきなての利用者さんたちにもご協力いただき、すでに一部の手作り屋台の準備も始まっており、準備は着々と進行中。

いつもの交流プログラムは午前中のみの開催ですが、より多くの皆さんに楽しんでいただくためにも、この夏祭りだけは特別に、午前・午後の2部制とさせていただきます。

リアルな夏祭りに参加できなかった、今年の夏休み。

食べ物の提供はできない、スタッフの手作りおもちゃの屋台が集まったなんちゃってお祭りではありますが、ちっちゃなてを卒業したすでに幼稚園に入っているお友達も、ぜひ、遊びに来てください!!(予約者優先制で人数制限があります)



会員登録にご協力ください

みんなのてでは、政府からの要請により、新型コロナウイルスに感染された方がいらっしゃった場合に、同時にご利用いただいていたほかのご利用者様に対して確実に連絡が取れるよう、必要事項をご登録いただいております。

個人情報としての取り扱いになりますので、管理の際のリスクを減らすためにも、個人識別番号制(会員番号制)を取らせていただくことになりました。

ちっちゃなても、おっきなても、ご利用者様の初回ご利用時には面倒な登録手続きをお願いすることになりますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



ボランティアスタッフを大募集中です

おっきなてと、ちっちゃなてでは、私達と一緒にサロンの中で働いてくれるボランティアスタッフさんを募集しております。興味のある方はスタッフにお声がけくださるか、直接それぞれの事務局までお問い合わせください。



ご支援・ご協力をお願いいたします

「みんなのて」では、各種金券(商品券やプリペイドカードなど)や物品だけではなく、現金による寄付もお受けすることができます。

両サロンの運営をはじめとする私たちの活動に、賛同してくださる方々からの、熱い応援をお待ちいたしております。



ちっちゃんて



E-Mail little-hands@outlook.jp (ちっちゃんて 事務局)

HP [https:// www.minnanote-tsurumaki.com/chicchanate](https://www.minnanote-tsurumaki.com/chicchanate) (ちっちゃんて)

皆さん元気でお過ごしでしょうか？ 6月15日よりサロンが再開しましたがまだまだ制限されることも多く、いわゆる新しいサロン形式となっています。それでも以前のように皆さんの顔が見られることが、今は一番嬉しくもあり楽しみでもあります。

この数か月の間、どんどん大きくなっていく子ども達の姿にも驚きと感動がありますね。自分で出来ることが増えてきたり、やってみようと頑張るようになったり…。お手伝いをしてくれたり嬉しい成長の姿もあれば、何でも自分でやりたがりできないと大泣きするという葛藤の時期を迎えたという成長もあるかと思います。また、ステイホームで外に出る機会が減って人見知りするようになった…という話も耳にします。幼いながらも色々なことを感じ取りながら育っているのですね。

ちっちゃんて も『三密』を避けながらの活動を頑張っていますので、是非また子育ての話を聞かせてください。もちろん世間話も大歓迎です！少人数で距離を取りながらも、一緒に楽しい時間をすごしましょう。お待ちしております。



身近なことであそぼう！



今号は簡単な

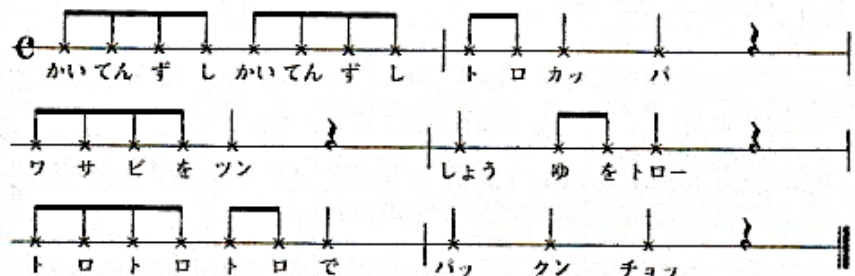
「親子あそび」

を紹介しま〜す♪



回転寿司

作詞・作曲/谷口國博



1

♪ かいてんずし…トロカッ



保護者は子どもの脇に手を入れて持ち上げて、左右に揺らします。

2

♪ パ



子どもを降ろします。

3

♪ ワサビをツン



子どもの脇を人さし指でつつきます。

4

♪ しょうゆを…トロで



「しょうゆをトロ」で子どもの頭からひざ下まで大きくなで、「トロトロトロ」ですばやくなん回もなでます。

5

♪ バックンチョッ



子どもを抱きしめます。



今まで同様、作って遊べる工作や夏祭りごっこの準備など楽しいことを用意しています。共同で使うものには制限がありますが、歌をうたったり、読み聞かせや身体を動かすことを楽しむなどみんなで工夫いきましょうね。

ちっちゃなて スケジュール

【8月】

月	火	水	木	金	土	日
3 ◎	4	5 ◎	6	7 ◎	1 / 8	2 9
10	11	12 ◎	13	14 ◎	15	16
17 ◎	18	19 ◎	20	21 ◎	22	23
24 (ミニミニ講座) ◎	25	26 ◎	27 (交流の日)	28 ◎	29	30
31 ◎						

【9月】

月	火	水	木	金	土	日
	1	2 ◎	3	4 ◎	5	6
7 ◎	8	9 ◎	10	11 ◎	12	13
14 ◎	15	16 ◎	17	18 ◎	19	20
21	22	23 ◎	24 (交流の日)	25 ◎	26	27
28 (ミニミニ講座) ◎	29	30 ◎				

【プログラムのご案内】

- 8月 風鈴（工作）
- 9月 ピョンピョンうさぎ（工作）

【ミニミニ講座のご案内】

- 8月 幼稚園への準備
- 9月 乳幼児の防災

おっきなて



E-Mail large-hands@outlook.jp (おっきなて 事務局)

HP <https://www.minnanote-tsurumaki.com/okkinate> (おっきなて)

緊急事態宣言が解除となり、ようやく始まったおっきなて。サロン再開のお知らせ電話をお約束していた利用者さんに連絡を取ってみれば、みなさん「待ってました!」とばかりに、その場でご予約を入れていただけました。

実際に始まってみたら、プログラム内容の人気度にもコロナ前とコロナ後での大きな変化が!!

なんと、何をしてもない、「普通のおしゃべりタイム」が一番人気の様相でありました(笑)

当たり前だった日常こそが、一番待ち望んでいたことだったんだなーと、そんなことをあらためて実感させられた出来事でした。



～サロンでこんなことをしたよ～

百人一首

それは「おっきなてカフェ」での一コマでした。

目の前にあるのは百人一首。・・となると、やるのは誰もができる「坊主めくり」!!

・・誰もがみんな子どもの頃にやったことがあるのに、ルールがうろ覚えなのはなぜ!?(笑)

2回戦ほど戦った後は、本格的なかるた競技風で楽しむことになりました。スタッフを含めたみんな、競技かるたに抵抗感がないのに、正直びっくり。かるた取りをしながらも、個々に「この歌が好きー」なんて、そんな話まで出てきて。

ココにいる全員、かつては文学少女だったってということね(笑)



ホームワーク?

誰もが自宅でひとりでできる簡単脳トレといえば、鉛筆を動かすアレコレ。おっきなてでは、サロン以外のところでもいつでも脳トレができるよう、ご希望される方にはお持ち帰りプリントを提供しています。

提出が義務付けられた宿題ではないので、ご自分のペースで進めてみてください。

おっきなて メインプログラムご案内

ご参加の際には、所定のご利用料がかかります。

【8月】

日時		火曜日	日時		木曜日
4	午前	川柳を楽しもう！	6	午前	おにぎりパーティー (おにぎり・漬物・かき氷)
	午後	おっきなてカフェ		午後	
11	午前	お休み	13	午前	お休み
	午後			午後	
18	午前	学校ごっこ「国語」「算数」	20	午前	季節のご飯 (夏野菜カレー・フルーチェ)
	午後	学校ごっこ「音楽」「社会」		午後	
25	午前	アレンジ料理	27	午前	交流「ちっちゃなて」
	午後	みんなで身体を動かそう！		午後	交流「ちっちゃなて」

【9月】

日時		火曜日	日時		木曜日
1	午前	漫談を楽しもう！	3	午前	パンケーキ・パーティー (パンケーキ・ミニパフェ)
	午後	おっきなてカフェ		午後	
8	午前	カードゲームで遊ぼう	10	午前	アイロン・ビーズ
	午後	みんなで身体を動かそう！		午後	
15	午前	リモートで旅行をしてみよう	17	午前	栄養士さんと残暑の料理を作ろう
	午後	昭和歌謡		午後	
22	午前	お休み	24	午前	交流 ちっちゃなて
	午後			午後	フリータイム
29	午前	新型コロナ最新情報			
	午後	みんなで身体を動かそう！			

「交流 ちっちゃなて」は子育て世代親子との合同サロンです

★ プログラムは予約優先の定員制となります。

詳しくはサロンにお問い合わせいただくか、毎月のご案内チラシをご覧ください。
ご予約のお申し込みは、サロンまたはおっきなて事務局まで、電話またはFAX
(45-0534)にてご連絡ください。

多世代交流プログラムのメインテーマ

【8月27日】

夏祭りごっこ



【9月24日】

小麦粉ねんど



多世代交流プログラムは、毎月第四木曜日に開催しています



ご支援いただき、ありがとうございます

(有)湘南サービス さま
より、
マスク1箱 をいただきました。



◆ 編集後記 ◆

おっきなての人気プログラムのひとつ、「昭和を語ろう」。

昭和時代の歴史上の大きな出来事といえば、なんといっても太平洋戦争に世界大戦ですが、75年前のことなので、利用者さんたちにとってもそんなに当事者記憶にはなく、どちらかという話題の中心になるのは東京オリンピックあたりかな。

オリンピックを境に大きく変わったことと言えば、カラーテレビ、新幹線、一億総中流社会—。

若い世代の人たちには歴史の教科書にしか出てこないこれらの出来事も、高齢者さんにとっては『あの日あのとき体験した出来事』。

同じ世代として、似たような家庭環境で、同じ時代(とき)を過ごした仲間だからこそ、50余年を経た今も懐かしく語れるあの頃の話—。

さて、令和を迎えて2年目となる今年。

日本の歴史上初の緊急事態宣言が出され、日本国中がステイホームを余儀なくされるそんな異常事態となりました。

テレワークの台頭に消毒の常態化、大規模集会の自粛など、コロナ前とコロナ後では社会も大きく変容し、もう元には戻らないとさえ言われています。

これもまた数年後には、日本の歴史のみならず、世界史の教科書の一ページになるのでしょう。

私たちは今、大きな歴史の転換点に立ち会っている仲間でもあるのだな、と、そんなことを思いました。

(文責:渡部)



今は、むかしー。

当時五人兄弟の末っ子で、小学一年生であったマアくんは、その日、お腹を下し、お風呂の中でウンチがポッカリポカリと粗相をしてしまいました。泣きながら母に伝えると、「大丈夫」と抱きしめてくれ「二人だけの秘密ネ」と母は笑顔で始末をしてくれました。

今と違い昔の五右衛門風呂は、まずお湯を抜き洗い流し、井戸から水を汲み、薪で焚き付け湯を沸かすという大変な作業です。

母は何事もなかったかのようにニコニコと接してくれました。

もちろん今もって兄弟は誰も知りません。

その時マアくんは思いました。

『おかあさんは ぼくの恋人だ。そして一生おかあさんを守る』と、決心したそうです。



それから年月は過ぎゆきました。

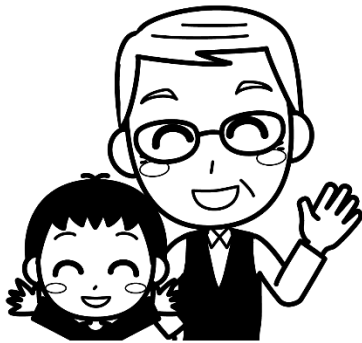
悲しいことに長男から順に若くして『がん』を患いこの世を去ってしまいました。

そして末っ子のマアくんが、お母さんのお世話をするようになったのです。

最後お母様は、意識障害で寝たきりでしたが、それでも、朝起きると一番に「お母さん、おはよう」「仕事に行ってきます」「ただいま帰りました」「おやすみなさい」を欠かすことはありませんでした。

そんな彼も、今は 70 歳一。

先日、「マアくんにとって子育てとは何？」と、尋ねました。「子どもといっしょに遊ばせてもらうことかな」と、さらりと話すマアくん。今はたくさんのお孫さんに囲まれ幸せいっぱい毎日です。



— おかあさん おかあさん 何もご用はないけれど
なんだかよびたい おかあさん —

コロナ禍により、あたりまえだと思っていたことが、こんなにも大切で愛おしい。たとえ暮らしが変わっても、誰かとつながること、そしてひとりも取り残すことなく慈しみ“みんなのて”であたたかく、心を合わせて参りましょう。

今こそ、『いのちの感謝デー』。

※ 多世代交流ひろば「みんなのて」は、鶴巻地区住んでよかったまちづくり協議会（宮川邦生会長）の居場所づくりプロジェクト事業のひとつです。